

議会だより



かけっこもはだしで走れるよ -杉原谷小学校-

9月定例会

- 不況の影響で町税が9200万円のマイナス ▶ 2
- 誰もが安心して高校へ ▶ 7
- こんなとないこれどうなってるの 12人が一般質問 ▶ 10
- 定住自立圏協定で西脇市と連携強化 ▶ 23

知って欲しい たかの特産品 山田錦

中区の山田錦

いよいよ秋も深まり、日本酒の美味しい季節になって来ました。今回は酒米の最高峰「中区の山田錦」を紹介します。石川県金沢市で1625年創業の福光屋さんと契約栽培を結ばれている中区坂本農会を訪ねて取材しました。山田錦のすばらしさと栽培の難しさを再確認しました。

水と酒米にこだわって

福光屋さんは霊峰白山の天然水(100年水)をくみ上げ、中区の山田錦を使用し、杜氏魂と伝統の技で純米酒のみを酒造されている会社です。川口専務は、中区の山田錦のすばらしさを熱く語ってくださいました。中区坂本の山田錦はJAS有機栽培米なので、米粒の中心に「心白」と



稲穂を見つめる定本さん

言うデンプン質が大きく、かつ鮮明で、しかも真中にあるから効率がよくて、その上、酒に「コクとキレ」が出ます。中区の山田錦は酒米の「最高峰」、車で言えばベンツでしようと大絶賛でした。

我が子を育てるように

その栽培方法を、地元坂本の浅田さんに尋ねますと、この稲は茎が長いので、風雨によって倒れやすい。倒れると品質が低下するし、いもち病(稲

熱病)にかかりやすいので、非常に栽培が難しいですとのことでした。自分はその山田錦を言う気持ちにならなければ、良い米作りができません。

JAS有機栽培米は、最低3年続けるのが条件で、土づくりと雑草・水管理が重要です。

土づくりは、土壌検査を行い、会員全員がどのような施肥方法が良いかこれまでの施肥分量を参考に計画書を作成し、実行しています。

次に、雑草と水管理が難しいのです。田植え時にトトロ層田にすることによって、深水管理が保たれ、雑草を生えにくくすることが大変です。

これほど手間とひまがかかります。良質米が収穫できると、今までの苦労が満足感に変わります。

まさにいい酒米(山田錦)無しに、良い酒はつくれないとのこと。皆さんもこの秋の夜長を

編集後記

今年は秋まつりの頃まで夏日が続きましたので、秋が短く感じます。ちょうど昨年の今頃、

我々の町議会選挙の告示前でした。多くの方々にご迷惑とお騒がせいたしましたこと深くお詫び申し上げます。この1年間議員一人ひとりが、「明るく・住みよい・まちづくり」のために全力投球して参りました。

この先も、厳しい町財政が続くと思われま。今後とも、町民皆さんが「住んで良かった・住み続けたい」と思われるような多可町づくりのため、厳しい目で行政をチェックして参りますので、ご指導・ご鞭撻をよろしく願います。(藤本)

感傷に浸って、日本酒を楽しんでください。ただし飲酒運転と飲み過ぎに注意してください。

不況の影響で町税が9200万円

— 平成21年度決算

9200万円のマイナス (対前年度)

— を賛成多数で認定 —

9月7日から9月28日までの22日間の日程で第33回定例会を開きました。

提案された議案は、平成21年度各会計決算認定や一時休止にした高校生等対象の奨学金に代わるハートフル学業支援金給付条例案、西脇市と共同で地域の活性化に取り組むための、北はりま定住自立圏の形成に関する協定の締結や補正予算案など9案件です。

いずれも慎重に審査し原案のとおり承認、可決しました。

21年度の決算の概要や議会での審議の概要は次のとおりです。

収入 収入は、前年に比べて国・県からの補助金等が約7億5000万円増えましたが、貯金の取り崩しの抑制や、新たな借金を抑えたことから全体としては約4500万円少ない約121億5577万円となりました。

町税は、長引く不況の影響から前年に比べて約9217万円減っています。町税等の滞納に対して時効等で不納欠損処分にした額は、昨年よりも261万円減少しましたが、議会では徴税専門員の配置も含めた抜本的な滞納対策について引き続き



会計課での収納

支出 年度中に実施した事業に対する支出額は、前年と比べ2億5690万円少ない約114億3269万円でした。

ただ、国からの地域活性化・きめ細やかな臨時交付金事業など、翌年度への繰越事業は、前年よりも3600万円あまり多い12億5228万円となっています。

人件費や借金の元利償還金などの義務的経費は48億1886万円です。人件費は、退職による職員数の減少や期末勤勉手当の減額で、給与や職員手当は減少しましたが、職員共済組合や退職

手当組合の負担金率が上昇したことなどから思いのほか減額できませんでした。

地域情報化関連事業が終了したことなどから普通建設事業は15億1818万円で、4億8825万円（対前年度比24・3%減）の大幅な減額となりました。

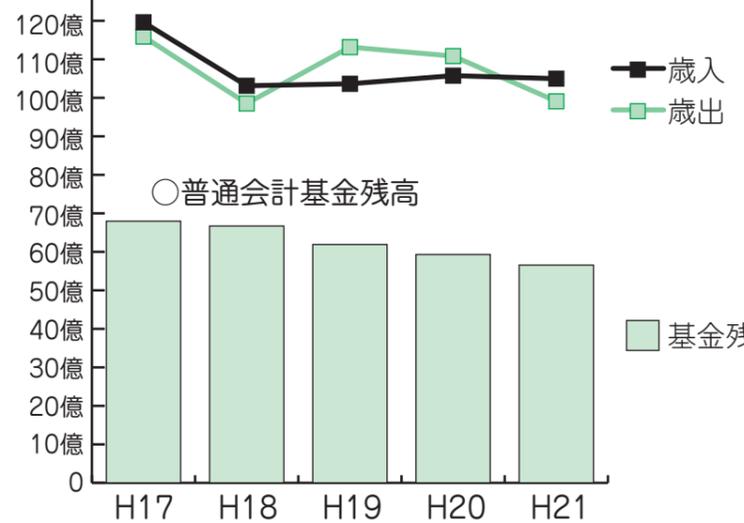
21年度の主な普通建設事業は、加美コミュニティプラザ整備、八千代中学校南校舎地震補強・大規模改造事業、文化会館大規模改造事業、八千代学童保育施設整備事業

です。



元気なやちよっこ —わんぱく会館—

○決算統計による歳入歳出額の推移



※各年度の決算から基金繰入金及び基金積立金を控除しています (H17のみ合併特例債事業による基金造成のため地方債分1,653,000千円を歳入から控除しています。)

反対討論
目的ハッキリしない事業整理してムダを省け

高澤 榮子

国や県の政策誘導にのった結果、あれもこれも総花的で、町として何がしたかったのかわからない。予算計上されたものの頓挫した事業もあるが、目的意識が薄いからです。高齢社会、少子化、人口減など、目の前の課題に向って取り組むべし。

善良な多くの納税者に対し不公平なことだ

草別 義雄

町税、国保税の未収額及び不納欠損の多さには驚きます。町の行政に皆さんが不平を抱くものと思えば反対します。

賛成討論
緊縮型予算を賛成

竹本 克之

学校耐震化・道路整備・消防自動車更新などの大型支出等、安全対策も実施、他の施策も怠る事なく実行し、プライマリーバランスを重視、かつ実質公債比率18%確保の緊縮型予算執行の努力を評価し、今期決算を承認します。

予算に忠実に執行、問題なし

山口 邦政

昨年の水害対策にも迅速に対処されています。小中学校の耐震化・加美プラザの改修、八千代プラザ・山野部坂の設計等新規事業も合併特例債を活用し積極的に投資されています。実質公債比率も18%とやや改善しており、特に問題はない。



監査意見書を提出

監査意見書より

決算認定は、監査委員の監査意見書をつけて議会に提案されます。
町に提出された監査意見書で指摘された主なものを紹介します。

指定管理料の削減を

平成21年度の指定管理施設29カ所中管理料を支払っている施設は20カ所。
中小企業診断士により経営診断がされ、改善提案された施設は利用者の視点にたち収入増加を目指す必要がある。黒字の施設については施設使用料を徴収し、少しでも財政負担を軽減すること。多額の施設管理料は財政を圧迫するので、随時見直すべき。

決算審査をまとめ 次年度予算要望に

予算決算特別委員会で、9月7日から24日まで、各課からの詳細な説明、質疑ののち、この度初めて導入した「議員間自由討議」をへて報告書をまとめました。
審査の概要は次のとおりです。

村づくり活動助成事業は継続を

村づくり活動助成事業は、おおむね22年度で終了する事になっていま



虫送り ー奥中地区ー

す。助成事業が終了する事で、これまで各集落で取り組まれてきた村づくり事業が中断しませんが、合併後、ほとんどの村で取り組まれたので、22年度でほぼ終わるメニューになっていきます。町としては、補助金終了後もできるだけ継続するようにお願いしています。
各村はどの様な意向を持っていますか。
さらなる継続を要望する村も多数あります。

まとめ 委員会では、村づくり活動助成事業について、金額の多寡は問わないが、今後とも継続して助成するよう町に要望した。

徴収専門員の配置を検討

不納欠損額は前年に比べて約261万円減っていますが、国保の不納欠損額は約1485万円もあります。なぜ不納欠損処理したのですか。

たかテレビ加入促進に補助金を

たかテレビは、昨年8億円をかけて全町が加入できるように整備された。しかし中区の加入率は低調である。中区の加入率が上らねば多可町合併の意義が半減する。加入促進のため補助金等を出すべきである。

日本敬老サミットの開催を

「敬老の日発祥の地」は、町民の誇りである。全国的に発信できる行事として、(仮称)日本敬老サミットを開催し、多可町の存在を積極的にPRしてはどうか。
みどりのふるさと協力隊は、都市と農村の交流のため、町のPRに活用する(い)。

不納欠損処理は、地方税法の規定のとおり、滞納処分する財産がなかったり、滞納処分をすることによって生活が著しく急迫される恐れがある時、生活保護を受けられたり居所不明となった場合におこなっています。
もっと徴収に努力するべきでは。
夏場や冬場には特別徴収班を設けて徴収をしています。教育部門、上下水部門それぞれ以上に強制的に徴収をしていく方針です。

幼稚園の延長保育は必要では

旧八千代町時代には、保育園バスの利用料も無料でした。合併後、保育園部の住民からは、バス代を徴収しています。

徴収は全職員体制で

町税の滞納額は1億5600万円。収納率は92・4%で前年度より0.6ポイント減っている。不納欠損処分されたものは、厳正に対処されていた。今後とも特に固定資産税の滞納者に対しては固定資産の換価処分を積極的に実施すること。
国保特別会計は、6500万円の赤字になっているが、累積滞納額は、約2億円と膨大な額である。

キッズランドかみができたらどのようなになりますか。

3月議会では、キッズランドでは預かり保育をしないという答弁でした。保育に欠ける子どもは保育所に行かせたら良いという問題ではありません。教育委員会はどのように考えているのですか。

今、就学前保育のあり方を検討しています。事務局案として、キッズランドでの預かり保育は無くしたいと考えています。

ただ中区の場合は今すぐに中町幼稚園の預かり保育を無くすることは無理なので、しばらく様子を見ながら、最終的に同じになるように考えています。

給食センターの統合を急げ

加美給食センター、八千代給食センターは老朽化している。現在統合する方向で検討されているが具体案を早急に出すこと。
食材については地元の野菜や国内産を積極的に活用し、安全な食材を提供すること。

地域商品券に補助金を

商工会が合併記念として発行したプレミアム商品券に補助金として960万円の支出がなされた。
商品券は大変好評で、すぐに完売となった。引き続き地元活性化策

新型インフルワクチン 65歳以上は無料

―補正予算―

9月7日に開かれた定例会には、総額6620万円の追加予算が提案されました。

提案された一般会計および特別会計の補正予算は、予算決算特別委員会

で審議し、反対者1名、賛成者12名で原案のとおり可決しました。

歳出 9月補正予算

款	補正額	補正後の額
一般会計		
議会費	▲169万円	8545万円
総務費	4474万円	18億1831万円
民生費	▲1000万円	32億1147万円
衛生費	665万円	7億9849万円
農林水産業費	▲292万円	12億3373万円
商工費	1122万円	2億4736万円
土木費	158万円	10億2155万円
教育費	▲2271万円	10億8389万円
諸支出金	57万円	2269万円
歳出合計	2744万円	121億5337万円
3 特別会計	3876万円	47億7050万円

※予算科目は補正のあった科目のみです

新型インフル ワクチン一部無料に

昨年は、3600円必要であった新型インフルエンザ対応のワクチン接種が、65歳以上住民と住民税非課税世帯の住民は無料で受けることができようになります。

道の駅の朝市に新兵器 レジシステム更新

野菜の直販所にバーコードレジ、バーコード



にぎわう朝市

プリンターを導入します。このレジシステムを活用すれば、農作物付け計画も含めた販売戦略が立てられます。

町が所有している基金から購入するレジシステムは、町の財産になるのか。

レジシステムは施設の維持管理に使うものから、当然株式会社のみ物産センターの所有になります。

反対討論

基金は町民の財産のはず

高澤 榮子

目的基金の中には、町関連団体の税金対策としての性質を有するものもあるが、基金は特定団体への便宜供与のためにあるのではない。このような基金は、町のホントの財政事情を知るうえで弊害にもなりかねない。町は考え方を整理せよ。

賛成討論

道の駅レジシステムをスムーズに

竹本 克之

道の駅レジシステム更改に関する補正は、販売品目増と入場者数増でその管理に苦労された、納入者やレジ関係者からの強い要望が出され、道の駅基金はこのためのもので、取り崩しによる補正措置に異論はなく、補正案に賛成します。

誰もが安心して高校へ

ハートフル学業支援金給付条例を制定 毎月5000円を4月にさかのぼって支給

今年度から高校の授業料は国が負担するようになりまし。これに伴い多可町の奨学金給付条例は一時休止となりまし

これで万全とは言えませんが、それでも大きな効果があると期待しています。誰もが安心して、教育を受ける一助になればと考えます。

主な審議の内容

- ① 学業支援金は奨学金と受け取ってよいか。
- ② 奨学金に相当します。
- ③ ほかの奨学金をもらっている、もらえないのか。
- ④ 実際に今年から急に休止では困られて、他の奨学金を手続きされている場合の事情もわかりますので、今年度はほかの奨学金との重複受給もできる配慮をしています。

- ① 授業料が免除になったのに、あえて支援金を出す必要があるのか。
- ② 保障されている教育の機会均等ということから、経済的理由によって就学を断念することの無いように、町としても最低限の対応はしたいと考えています。
- ③ 審議の結果、全員賛成で条例は可決しました。

工事請負契約

(仮称)キッズランド かみ新築工事



盛り上がる高校生の騎馬戦

この工事は、加美区の二つの保育所と二つの幼稚園を統合して、一つの施設にする工事です。12社指名して入札し、最低札の2社が同札だったため抽選で落札しました。契約金額 4億4940万円

請負業者
森田工務店・イマナカ特別共同企業体
工期
平成22年8月25日～
平成23年3月25日まで

反対討論

工事のすすめ方拙速すぎる

高澤 榮子

設計では、ピオトープや農に関するゾーンなど、子どもたちが自然と触れあう場が少ないのでは。工事では、木材を多用する内装部分などは分割発注して、地元の大工さんたちを活用するなど方法はいくつもあると思うが工夫が足りない。

賛成討論

健やかに育つ施設に

竹本 克之

P.T.Aや教職員をはじめ各団体の代表者で建設検討委員会が設置され、細やかな配慮のなかで多くの問題点を乗り越え、今では保護者の新施設に対する期待も寄せられる状況にあり、新園児が健やかに育つ施設建設を願います。本議案に賛成します。

総務文教常任委員会

八千代公民館の改修工事はじまる

総務課
職員の退職と異動と産休・育休等により人件費を約1千万円減額しました。
7月に施行された参議院議員選挙費を（主に期日前投票の16日間の内、後半8日間実施）約187万円減額しました。

教育総務課

学校修繕費として（杉原谷・八千代北小学校・加美中学校）約200万円と、11月6日～7日岡山県奈義町で第25回国民文化祭に地歌舞伎として多可町播州歌舞伎クラブが文化庁から推薦で出場が決定したので、35万円の補助金を承認しました。

こども未来課

キッズランドやちよの給食備品の買い替え（冷蔵庫・回転釜・食器洗浄機）として約49万円。
中町北小学校の学童保



フルドライシステムの調理室 一米原市一

育のエアコン・シロアリ防除料に約44万円と、ハートフル学業支援金420万円と、国の補助改定分200万円とその他90万円を承認しました。

所管報告

9月1日に加美区南グランド（的場）で、来年4月開園予定の幼保一体化施設「（仮）キッズランドかみ」の安全祈願祭が厳粛かつ厳かに挙

されました。

八千代公民館の改修工事が11月上旬から始まります。来春には八千代コミュニティプラザとしてリニューアルオープンします。
（旧役場跡は駐車場の予定です。）

米原給食センター視察

多可町も給食センターの統合を検討おりますので、委員会も10月13日に

滋賀県米原市立東部給食センターの視察に行きました。本町が統合しようとする規模と同じ（3000食）くらいでした。
まず、全館環境に配慮して、オール電化で深夜蓄電なので低コストです。（月120万円）
安全衛生の面では、フルドライシステム（乾燥した床）を採用で、準備・調理・洗浄ごとに壁やカウンターの仕切り、職員の作業服も色違いでした。

またアレルギーの児童・生徒の対応も行きたとき、独立した調理室で一人ひとり個別の保温食器で配送されています。
食育の発信基地として調理室・研修室が市民に開放型になっていました。
非常に有意義で多くの視察でした。

生活環境建設常任委員会

安心安全の上下水道施設



棚岩浄水場

施設視察報告

生活に欠かせない上下水道施設を今回は4カ所視察しました。

◎棚岩浄水場（流水を緩速ろ過して岩座神、棚釜地区を自然流化で配水している施設です。）

◎岸上浄水場（中区の水道配水量約60%を占める水道施設です。）

視察をしたのは2カ所ですが、多可町内には、上水道（中区）、南部簡易水道、中部簡易水道、棚岩簡易水道（加美区）、

東簡易水道、西簡易水道（八千代区）があり、取水、浄水及び配水施設を合わせて40の施設で構成となっています。

下水道施設

◎二宮地区浄化センター（1日最大732.6m³を処理できる施設）

◎中浄化センター（1日最大4500m³を処理できる施設）

を視察しました。
多可町にある下水道施設は、中浄化センター（中区）、貴船浄化センター（八千代区）の公共



中町南小児童が視察 一中浄化センター



八千代北・西小児童が視察 一坂本浄水場

15カ所となっています。
今回の視察で、すべてまわれませんでした。安全安心な施設であるよう努めることの確認をしました。

下水処理施設、そして、北部浄化センター、南部浄化センター（中区）、加美北浄化センター、多田浄化センター、二宮浄化センター、加美中浄化センター（加美区）、天船浄化センター、三原浄化センター（八千代区）の8カ所の農業集落排水事業施設、並びに清水浄化センター、杉原谷浄化センター、轟・西山浄化センター、加美南浄化センター（加美区）、門田浄化センター、（八千代区）に5カ所のコミプラ施設を合わせ下水道施設



松井小児童が視察 一加美中浄化センター

こんなんでない これどうなってるの

9月定例会での一般質問は、
9月22日に行なわれ、12人の議員
が行政全般について質問しました。

※内容は次ページからですが、
紙面の都合上カットしている質問もあります。



質問議員	質問要旨	掲載ページ
大西 一好	1. 地域活性化のチャンスー定住自立圏構想 2. 環境保全は住民の願い 3. どのような多可ちよっ子を育てるのか	11
安田 昇司	1. 主要地方道丹波・加美線はトンネルを含めていつ開通するのか 2. 国道427号の豊部地区のバイパス計画はどうなったのか 3. 県工事の場合、地元集落と県職員と町職員との連携に希薄感がある	12
高澤 榮子	1. プロポーザル方式入札の問題点について 2. 随意契約のあり方と公表について	13
玉臺 正明	1. 天船バイパス一部開通に伴う旧道の信号機設置について 2. 合併特例債事業の現在の進捗状況について	14
門脇 幸澄	1. 木造住宅リフォーム助成制度の創設について 2. 松内鉱物化石博物館を町の観光資源に	15
山口 邦政	1. 播州織に対する支援策が必要 2. シカ被害対策について	16
辻 誠一	1. 定住自立圏構想について 2. 住宅リフォーム助成制度の創設を再び問う	17
藤本 英三	1. 真夏日対策について 2. 国道427の曾我井～坂本改良工事はいつか 3. 中区でも夏祭りを実施してはどうか	18
竹本 克之	1. 人口増加対策を問う 2. 今こそ森林を守るとき	19
秋田 清	1. 公共事業のコスト削減を	20
大山 由郎	1. 高齢者が安心して暮らせる抜本的対策を	21
草別 義雄	1. 公平公正なる税及び保険料徴収について 2. 適正な公金管理について	22

定住自立圏で 地域活性化を



大西 一好 議員

大西 西脇市との圏域をつくり、定住と自立を
図り人口減を食い止める
制度ですが①協定の中味
は②西脇市からのコミバ
ス乗り入れ③教職員の人
事交流を是非実現すべ
きと思いますが所見を伺
います。

定住と自立を 促進する事業をします

町長

①生活機能
強化ー医療制
度の確保 医療連携 文
化・スポーツ施設の共同
利用 農業 播州織 有
害鳥獣などと、すでに共
同化している福祉 消防
救急ゴミ処理 斎場の運
営業務など。○ネット
ワーク機能の強化ー地域
公共交通 圏域を結ぶ幹
線道路の整備 交流の推
進環境エネルギー対策の
推進。○マネジメント能
力の強化ー人事交流と人
材育成が中味です。②協
議の場で練り上げます。

教育長 教職員の人
事交流は、積
極的に関係機関と連携し
て行っていききたいと思
います。

環境保全是住民の願い

大西 多可町環境保全
条例が本年4月1日から
施行しているが①この条
例の啓蒙・啓発をどのよ
うにしているか。②現在
加美区、中区での環境問
題解決への進捗状況を伺
います。

条例の精神を いかします

防災監

啓発につき
ましては、町
広報に特集を組んで理解
を求め、各企業へは条例
を送付し、呼び掛けをお
こないました。加美区に
おける水質汚濁、悪臭、
騒音にかかる事象につ
いては、地元説明会を開
催し、当事者同席のもと話
し合いをおこない、文書
においても勧告をしてお



町内を回るひかひか号

ります。さらに、産業廃
棄物とされる部分につき
ましても早期撤去を併せ
て勧告しており、今後
は、関係法令遵守の観点
から法的措置も視野に入
れながら、県環境局や県
民局環境課と連携して問
題解決に努力していきま
す。水質につきまして
は、河川の水質基準を準
用し適合していることを
確認しております。

小中一貫教育の 必要性を感じます

教育長

小1ギャッ
プと言われ、
中1にも見受けられます
が、体験入学や集団訓練
を通して早く適応できる
ように取り組んでおりま
す。自由に今までのびの
び育ってきた子が、小学
校に慣れるまでには、
2・3ヶ月の時間を要し
ます。今後、小中一貫と
いうことは是非考えなけ
ればならないと思ってお
ります。教育の一番ペ
スになるところ、多可町
を担う人づくりの基本、
それは就学前教育・保育
と考えております。

どのような多可ちよっ子を

大西 今までのびのび
と育ってきたが、小学校
に入ると適応できにくい



安田 昇 司 議員

問 丹波・加美線はいつ開通か 答 平成26年には開通の予定

安田 平成3年から期成同盟会もできて高速道路へ速やかに連絡する道路として、大きな期待を寄せている清水坂トンネルを含めた丹波・加美線ですが、加美区側は用地買収も終わり、氷上側でも、現在取り合い道路の工事に着手されていますが、いつ開通するのか。

町長

トンネル工事の発注は本年度の末と聞いています。また、掘削は、加美区側と氷上側と同時発注と聞いています。トンネル本体の完成は着工から2年余りかかります。県工事ですので、予算がどうつくのか未定ですが、26年前半の開通を期待しています。

国道427号豊部バイパスを

安田 曾我井バイパスが完成して大変便利になりました。曾我井の次は豊部との思いを加美区の人なら誰も持っていますし、町の説明も、そうされてきました。豊部地区は幅員も狭く、カーブも多く、交通事故の多発地区でもあります。また、歩道も無いが、小学生の通学道路にもなっています。

国道427号は、起点が明石で終点が朝来市ですが、明石から北上しまして、この間で歩道が無いのは豊部地区が初めてです。曾我井地区は旧道にも歩道があります。産坂の信号機の付近の工事が残っていることですが、完成の域に達していると考えます。今、県へ事業着工を強く働きかけてもらうことと、視点を変えれば、町

旧町からの懸案課題

町長

旧加美町の時から懸案事項で、県民局とは幹部職員との調整会、また土木事業の調整会でも議題としてきました。しかし

道で先に整備しておいて、国道へ振替ってもらう。丹波加美線と同じで町が実施する代行工事はできないか。この道路にこそ、合併特例債を活用できないか。

ながら、曾我井の二期工事が残っていますので、これが完成してからでないかと無理と聞いています。町内には県事業が目白押しで、まだ残存事業があります。財政の厳しいなかで無理をお願いして、県の社会資本整備基本プログラムの中に入れてもらっていますので、曾我井バイパスの完工を待ちたいと考えています。



歩道のない国道427号豊部地区

随意契約 入札結果を公表せよ

情報の公開、 前向きに

のためにもきっちりとしたガイドラインが必要で

高澤 随意契約については、情報公開が進んでいませんが、業者との癒着が起こりやすいため、地方自治法では制限を、入札適正化法では情報公開を規定しています。多可町でもその選定理由を含め、公表すべきで、そ

総務課長

事後の公表などに検討していきます。ガイドラインについても、作成を検討していきます。

プロポーザルは 有効な手法の一つ

※プロポーザル方式
建築設計などの業務を委託するうえで、いわゆる提案書を出させ、提案内容を審査・評価して、もっとも優れたものと契約する入札方式。

町長・副町長・総務課長

①必要な手順、手続きはふんでおり、日程的にも無理はなかったと思っています。
②選定委員に、第三者は必要ないと考えています。
③ガイドラインの作成については前向きに取り組んでいきます。

官製談合か？ プロポーザル方式入札



高澤 榮 子 議員

高澤 「キッズランドかみ」の設計については、プロポーザル方式での入札を実施。随意契約で、姫路市の小野設計事務所に業務委託されました。
①しかし、業者の選定においては疑問が残り、実施者（町）の意思、つまり、あらかじめ業者の選定があつたとしてしか考えられないような日程でことが進んでいる。このことについては、どう説明されるのか。
②選定委員についても、副町長以下7人の町職員で構成されているが、専門家や現場の職員、住民等第三者の目も必要です。
③プロポーザル方式入札の最大の課題は、公平性と透明性の確保がどうなされるかということに尽きます。特定のものが有利にならないようにする競争性と透明性を確保する。住民への説明責任を果たす。そのためにも、町として、審査経過や選



小学校と一緒に運動会はもう最後 -加美区-



玉臺正明議員

天船バイパスの旧道に信号機が必要

玉臺 天船バイパス一部開通は地元の皆様と共に喜んでいるところですが、このバイパスに接続させるため町道大和桑坂線もバイパスまで延長された。当然のことですが、三叉路から新たな交差点となり、しかも、南北優先だったのが東西の大和桑坂線が優先道路に替わった。このため八千代北小、中学校への通学にまた周辺住民にとって大変危険な状態が生まれている。生活道路となつている旧道との交差点に信号機設置が必要と考える。地元区長会、PTA、地元住民からも強い要望が町、県へも出ている。当局の考え方を聞きたい。

必要性の判断は県の公安委員会

町長 バイパス開通で姫路方面からの大型車の増加もあり、通学路にもなつてい

る町道の横断が危険な状況になったことは間違いない。地元から改善の要望を受けて、今年の4月に緊急の要望書を、西脇警察署へ提出しております。また、当該交差点にカーブミラーや旗等の設置もしてもらいました。また、6月にも再度緊急要望書も提出しました。

ただ、必要性の最終判断は町ではなく、県の公安委員会であることも、ご理解をお願いします。

合併特例債事業の進みくあいは

玉臺 特に主要町道について進捗状況を聞きたい。
町長 ①山野部坂本線のトンネルは。
②中区と加美区を結ぶ川東線は。
③八千代区の中心部への八千代5号線は、どここれらの道路は、どこ



信号機がほしい交差点 ー横屋地内ー

地権者の協力が必要条件

町長 ①山野部坂本線は山野部側は集落所有の山林なのですが、明治時代に連名登記されていて登記の相続調査中ですが、かなり事務的に困難な状況となっております。
八千代区側は現地立合も済ませており用地交渉に入りたい。

まで地元や地権者との協議ができていますか。

②川東線(観音寺地内)は用地交渉に入りたい。工事は次年度に終点側から着手したい。
③八千代5号線は本格的に用地交渉して、物件調査・文化財調査も完了したい。工事は次年度から八千代区13号線の交差点付近からイーデルに向けて発注したい。この路線の完了予定は25年度末を予定しております。



門脇幸澄議員

住宅リフォーム助成制度を

門脇 多可町の地場産業の一つである木材を使った住宅の新築やリフォームを促進することは地域の経済の活性化に大きな効果があります。林業、材木店から建具や畳、瓦や左官業、電気工事や工務店、さらに家電家具の小売店まで裾野の広い経済効果が期待できます。また自治体にとっても住宅の新築やリフォームによって固定資産税の税収も増えます。国の住宅政策も「建てては壊す」から「長く住み続ける」に転換しており、バリアフリー化や耐震化による安全な住まいの確保も必要です。



ナウマン象の牙にビックリ ー説明する松内さんー

検討協議します

町長 ①昨年11件で、補助金は420万円で、3億900万円の工事がありました。
②条件整備をすればその経済効果は大きいので、検討協議していきたい。
③工事費の90%、20万円までを補助するもので、昨年の利用件数は90件で927万円を支出しました。

松内鉱物博物館を観光資源に

門脇 中村町にある松内鉱物化石博物館(通称、松内コレクション)は鉱物や化石、宝石や貝殻など4万2000点もある県下最大の石の博物館です。この博物館は平成元年に益富壽之助京大名誉教授の肝いりで「益富地学会館」の名で公開されるようになり、その中には、5億4000万年前の三葉虫や、6500万年前のナウマン象の牙の化石など学問的にも貴重な化石類も収集されています。

博物館を活用させていただきたい

教育長

①今後学校でも講師として来て頂いたり、この博物館を活用させていただいたりすることを松内氏の負担にならないよう、協力を得ながら進めていきたいと思えます。
②、③町や教育委員会の方へは正式の申し入れはないので、現段階ではお答えは控えます。



山口 邦政 議員

問 「播州織の支援を！」

答 具体的な提案あれば検討する

山口 代表的な地場産業の播州織ですが、織布工場は平成元年の1148企業から昨年度は249企業に大幅減少しています。町内にも110企業があり、西脇市とほぼ同数です。織維関連会社にも多くの方が勤務されています。減少一途の播州織を支援していく必要があると思うが。

町長

播州織はこの地域を代表する産業であります。残念なことに衰退の一途をたどっています。北播磨地場産業開発機構を通じて支援を進めております。官民連携を考えながら、有効な体制を探っていきたく考えます。

山口

町内の北播・野間織の組合内部で、企画・開発・販売を模索する動きがありますが、支援をお願いしたい。

町長

そのような動きがあるのは耳にしています。具体的

的な提案があれば検討していきます。

山口

織物の訓練コースもある、西脇の職業訓練センターが地元自治体への譲渡か廃止の報道がされました。多可町はどう対応していくのか。

町長

雇用状況が悪い中で、能力開発に当たっていた。大きく大事な組織です。西脇市と同じ地域の課題と認識しております。西脇市と協議しながら、11月末までに、存続できる形へ調整していきます。



伝統ある播州織

シカ餌づけ防止運動を進めよ

山口 先日、(北播磨地域シカ被害対策セミナー)での井上雅央先生の講演内容を一部申し上げます。

「シカ被害で困っておられる地域の皆さんは、徐々にシカに餌づけをしてしまっておられるので、①9月以降のアゼ草刈りによる新芽。②収穫後のヒコバエ。③土木工事後の土手に植えられる牧草。④田畑に捨てられる

餌づけ防止とシカ柵の両方を充実させよ

町長

井上先生の方法を進めるのがいいかは、賛否両論耳にしています。餌づけをやめる事と、シカ柵の充実と両面で進めていきます。

農林課長

餌づけ防止の方法は、従来から農会を通じて徹底をはかっております。今後は、広報等で従来に増しての運動を展開します。

問 多可町が埋没しないか？

答 圏域全体の魅力が向上する



辻 誠一 議員

辻 町は、西脇市と「定住自立圏形成協定」を締結する方針です。

国は、定住自立圏を形成する地域では、中心市に周辺市町村も含めた地域全体のマスタープランの作成を担わせることで、中心市への都市機能の集約化を進める一方、周辺市町村の世帯分離で集落から出てくる若者などが圏域にとどまれるよう、中心市に住宅を確保する等という方針をもっていきます。

こんな定住自立圏構想ののっかっては、多可町を「半人前の自治体」として固定化してしまい、

人口流出の加速をおしやすめることになりはしませんか。

町長

協定締結に際して懸念されることの一つは、圏域内での人口格差の拡大です。二つ目は、中心市の過度の優越の状況にならないかという点です。

しかしながら、北はりま定住自立圏は、1市1町の枠組みで形成されます。さらに一部事務組合などの広域連携の取り組み実績がもう既にあります。

そして、それぞれの市町に潜在的なポテンシャルがある。互いが切磋琢磨

住宅リフォーム助成で仕事づくりを

辻

町は町内の「建築技術」が継承されるように、新築住宅助成制度をつくりましたが、町内の総着工戸数に対して町内業者の関わりはまだまだ少なくその目的を十分に発揮していません。

町内業者が持っている技術を継承させるためには、まず建築業を続けていくことが何よりも重要です。これまで度々住宅リフォームに対する助成制度の創設を提案してきましたが、この制度は経済波及効果が高いだけでなく仕事づくりという面からも、高い効果があります。

人口規模の同じ京都府の与謝野町では、リ

改めて地元業者の手による住宅のリフォームに対し、その工事費の10%を助成する住宅リフォーム助成制度の創設を提案します。

制度を構築する

町長

地元業者によるリフォーム工事に対する助成制度は、地域の活性化と雇用の拡大、地域経済の支えになっていると言われおり、多可町でも同様の効果があると思えます。

これから土建一般労働組合多可土建の皆さんや議会と共に前向きに協議をして、制度を構築していきたいと考えています。



藤本英三議員

問 2期工事はいつになるのか？ 答 4年後ぐらいの予定

藤本 国道427の曾我井バイパスが開通しましたが、2期工事（産坂まで）約500m弱残っていると思います。多可町の南の玄関口とも言われる所が、あのような状態では、初めて来町されるドライバーも驚かれます。その上、中町南小学校の通学道路になっておりますので、非常に危険な道路です。1期工事が終了して1年半にもなりますが、2期工事着工がいつになるのか。工事完了はいつですか。

この9月補正予算にこの工事区間で錯誤更正登記委託料が組まれておりますが、それによって工事に支障をきたすのではないかと。指摘の工事区間（443m）ですが、現在、糞屋の変則五差路と共に早急に整備が待たれております。関係の5集落の区長

さんと、境界の立会を済ませて、現在は補償額の査定をしながら地図訂正を行い、この秋口から用地交渉に入り、来年度は埋蔵文化財調査を済ませて、24年度から工事にかかり、約2年要しますので、スムーズに進めば、平成26年頃に完了と聞いております。

建設課長 旧町時代にほ場整備を実施した時に、字限図上、ほ場整備の地区外に同一地番があったのが原因です。その訂正に2〜3カ月ぐらいかかります。今年度中に用地買収を完了予定なので、計画に支障をきたしません。

夏まつりは各区持ちまわりに

藤本 夏まつりはここ2・3年、加美区での開催が固定化されているのではないかと。以前、実行委員会・地域協議会・区長会等で色々と議論をな

された結果、このようになったとのことですが、中区では合併してから一度も夏まつりは開催されておりません。開催場所・花火の規模等含めて再検討の必要があるのではないかと。各区持ちまわりこそ町長がよくおっしゃる「心の合併」につながるのではないかと。

議論する時期がまもなく来る

町長 持ち回りというところで中区の順番になった年に検



2期工事の完成が待たれる国道427号 一曾我井地区

討いただいた結果、開催場所はあるのですが、駐車場や警察の警備のあり方・花火の打ち上げ場所が問題になりました。花火を中心とした夏まつりということで、当分の間、加美区で行うことと決定しました。

「当分の間」と言ったら5回ぐらいかなと思いますので、2年後ぐらいに議論する時期が来ると思います。



竹本克之議員

人口増加対策は多可町の宣伝

竹本 毎年三桁の人口減少の要因は、若者の町外流出と出生率の低下です。公営住宅は他自治体に比べて多く、子育て支援策も至れり尽くせり、増加対策にさらに思い切った住宅の増改築補助と宣伝が必要だと思います。神戸大学に提言を求められているがその結果は。多可町のホームページで種々の支援策がワンタッチで見られるように改善ができませんか。3世代・4世代が一つ屋根の下で暮らせる政策はできませんか。

点から線の訴えを

町長 地域文化が明確に見え、情報発信ができる所に人口の流れが起こるとも言われており、多可町の豊かな文化と豊かな人間性を醸成し広く発信していきます。



パパとママの講習会

地域課長

神戸大学の藤岡先生から調査に基づく人口動態の分析を頂いており、Uターン・ターナーの傾向を分析して検討します。

健康課長

子育て支援策は、社会福祉協議会子育て教室や健康福祉課では年代に合わせた健診や相談の多くの事業展開をしています。

子育て課長

キッズランドの子育てふれあいセンターが中心になり、サークル活動支援など行っています。

総務課長

トップページに若者向けのバナーを設けて、住んで安心・育てて安心の検索が容易にできるようにします。

今こそ森林を守るべき

竹本 伐期80年政策は、間伐を完遂してこそ減災効果はあるが、人と金はどうするのか。一方、鹿が檜の皮を食べて樹を台無しにしているが、山林の鹿対策は。また、落葉樹にカシナガ虫（カシノナガクイムシ）の立枯被害が近隣まで攻め寄っているが対策は。

10年間の森林計画

平成19年に森林整備の基本を策定し、自然災害に強い森林づくりを進行しています。鹿被害については、広葉樹帯や針広混交林整備など施行していますが、研究中です。

カシナガ虫については、ほとんど多可町では未知であり、県とも相談しながら研究を進めます。



秋田 清 議員

割高な公共工事の コスト削減を

秋田 一般的に、民間企業の発注の建築工事は、バブル経済の崩壊後は約30%弱ぐらい低下をしたと言われております。しかし一方、公共工事の発注単価は、何ら改善のないまま横バイで推移しているといわれています。公共工事は、安全性を求めるあまりに、仕様規格等が高すぎるのではないかと。特に解体工事については、新設工事の場合と違って、余り仕様基準等厳しくする必要もないのではないかと。低価格で適正な解体処分を行うことができれば、財政面でのメリットがあると思われ

ます。今後、地方財政は厳しさを加え、工事施工に一段の創意工夫、改善が要求されるが、町長のお考えをお聞きしたい。



現在の八千代地域局

最低制限価格制度があります

町長 多可町の最低制限価格制度の事務取扱規程がございまして、それにより、予定価格算出の基礎となる算出額の一定の率を乗じて求めるということが決まっています。最低制限価格については、過度

な安値受注による工事の品質の悪化や、建設業者の健全な発展の阻害等を防止する観点からも必要を感じています。また、解体の撤去工事入札について、4件の入札の内3件で最低制限価格を下回って失格となった業者が延べ14社ありました。解体工事といえども、建設業法、廃棄物の処理法等遵守し、適切な施工をする観点からも最低制限価格は必要と感じています。行政と業者との積算価格に一部相違が見られることは事実です。実勢の価格に近づけるよう努力を重ねます。

秋田 公共工事の請負契約については、何を

しても公正を第一義として厳格に行わなければならない。指名業者の特定化や予定価格の漏えいはないか。今回の解体工事の入札で最低制限価格より低い業者が多かったことについて、行政として

どのような算定基準で積算したのか。

副町長

入札業者の審査、指名については、経営事項審査をへて、町に登録している業者で、それぞれランク別に分かれて点数があります。それによって指名業者の選定をしております。また、予定価格の内には、直接工事費以外に、現場管理費、一般管理費等があり、最低制限価格というのは、直接工事費を下回ってはいけないという判断をしています。

総務課長

多可町最低制限価格制度事務取扱規程第3条により算定をしております。



大山 由 郎 議員

問 高齢者が安心して暮らせる 抜本的対策を 答 事業の見直しをおこない高齢者 総合計画を推進



今年の喜寿敬老会

大山 高齢者対策として多可町ではさまざまな対策が講じられてきました。しかし、多数の元気な高齢者の生きがいなどもっと真剣に論ずるべき

です。これがなくして長寿社会の幸福は実現しません。福祉には多額な費用がかかり、公的サービスにも限界が考えられ、これらを補うものは、互いに支えあい助け合う以

外に見あたりません。他人の痛みがわかり、思いやりの心で支え、助け合うまちづくりを強力に推進するべきです。今までは国からの指

示、通達などの上意下達でおこなわれたものを、創意工夫の下意上達の力強い対策が必要で、そのためには、「サービスを受けながら自立して豊かな老後を送る自助の心」、

「受ける福祉から、みんなで作る福祉」、「必要最小限の公助」、この三つが補完し合うよう、町として今一度高齢者の心をつかみなおして、高齢者がより安心して暮らせる抜本的な対策を講ずるべきです。

町長

高齢者の願いを実現するために、介護保険制度の適正な運営、地域支援事業での介護、予防の推進、福祉制度の実施などに取り組んでいます。しかし、今の公的サービスだけではすべての高齢者への安心・安全の提供が十分でないことは認識をしています。高齢者のために、地域の福祉、互助、共助の心の育成が重要です。そのために地域の福祉活動を支えてもらうネットワークの構築が今後の大きな課題だと考えます。

生きがいの見いだせない高齢者への対応は、閉

じこもり、うつの予防のための教室の開催、ボランティア活動や学習活動など積極的な社会参加への推進をしています。また、みんなが助け合うまちづくり推進のために、地域福祉推進計画の見直しで、福祉計画と高齢者福祉計画を一体的に調整し策定をします。そして、豊富な経験、知識、技術などを活かせる福祉活動づくりを関係者と充たな連携をはかり積極的に進めます。

大山 町として高齢者の心をつかみきっているとは思えません。みんなが納得できるきめ細やかな施策で高齢者が気兼ねなく暮らせる多可町を願うわけです。

町長

個人情報関係もあり、細部に入りきれない部分もあります。しかし職員教育もふくめ、万般の対応を可能な限りします。



草別 義雄 議員

公金収納は大切に 徴収努力を

公平公正なる税及び 保険税等の徴収を

草別 不納欠損額は状況表のとおり多額となっています。善良な住民の納税者に対し不公平な行政対応だと思ひ、このことについてお尋ねします。

貴重な一般財源 収納率アップをめざす

町長 現年度の徴収率は町税97・83%、国保税で92・37%、後期高齢者医療99・52%、介護保険で99・03%となっています。不納欠損処分につきましては、地方税法の規定により滞納処分をすることができ、それが裁判所において自己破産や会社倒産において競売が実施し、その配当で充当できない場合などで不納欠損の措

置をしています。歳入未済額の対応であります。税務課職員だけでなく徴収強化対策といたしまして管理職全員が収納率向上対策本部員として、5月、8月、12月の一定期間でありますけれども、年3回滞納されている家庭を夜間に訪問したり電話による催告を実施しています。今後、収納率がアップするように努めさせていただきます。ただこうと思つていません。

※不納欠損とは

多可町財務規則第41条において歳入管理者は、調定した歳入に係る債権が法律若しくはこれに基づく政令又は条例の定めにより消滅したとき等の定めがあります。町税等の不納欠損については、滞納処分する事ができる財産がないとき、その所在及び滞納処分することができない財産

不納欠損額(18年度、19年度、20年度、21年度) (単位:円)

区分	不納欠損額			
	18年度	19年度	20年度	21年度
町民税	1,626,564	5,110,654	3,221,330	4,525,853
固定資産税	4,367,815	9,276,290	10,519,609	6,841,721
軽自動車税	41,300	114,200	208,800	148,150
都市計画税	356,562	396,229	386,474	206,254
国民健康保険税	1,897,080	13,887,519	12,925,684	14,852,455
介護保険料	53,350	501,335	357,180	896,180
高齢者医療保険料	0	0	0	1,575
計	8,342,671	29,286,227	27,619,077	27,472,188

がともに不明であるときなどの理由により時効等が生じた滞納者に不納欠損処分を行つていません。

定住自立圏協定で 西脇市との連携強化!!

「北はりま定住自立圏の形成に関する協定の締結について」の議案提出を受け、議会では委員会を設置しました。9月17日に委員会を開催し、委員より町当局に疑問点や問題点を問いました。委員会及び本会議では賛成多数で可決しました。

総務省が推進している施策で、西脇市を中心市とし、多可町と一対一で連携する取組みです。急激な人口減少の中、

地方の将来は極めて厳しい状況です。両市町の自主性を尊重しながら、連携・役割分担を行うことで、地域の活性化を目指します。

協定に定めた分野や事業などに共同で取り組むことにより、相互のメリットを創出していきます。

具体的には、医療・福祉・教育・文化・産業振興・消防・救急・ごみ処理・葬祭・地域公共交通・道路等のインフラ整備・地産地消・地域内外の住民交流・環境エネルギー・人材育成等の分野で連携を強化します。

問 国の研究会の報告書では、中心市に重点を置いた内容になっている。デメリットを研究したのか。

答 お互いにメリットがある協定内容です。

問 シカ肉加工処理施設設置について、運営がうまくいくのか検討したのか。

答 将来に向けての検討課題としての記述です。必ずやると言う事ではありません。

問 30万都市への合併の前提とならないか。

答 合併を促すとは考えていない。あくまで圏域の活性化をはかるための協定です。

問 広域行政で西脇・多可で一団体を判断されて発言力が弱まらないか。
答 消防・ごみ処理等の

広域化での多可町の位置付は、従来どおりです。



西脇市内を走る「のぎくバス」

賛成討論

地域活性化のために

大西 一好 平成17年の町人口は2万4304人で、5年前から1027人減となっている。今年も国勢調査で減少が懸念されます。人口の流出を食い止め流入を図るために、広域的な連携が必要で生活機能の強化や結びつきを強め人事交流も進められます。

西脇市と密接な関係は必要

山口 邦政 少子高齢化が進み、都市部への人口流出が続く中、西脇市との自立圏の形成は必要です。杉原川・野間川という共通の生活圏を持ち、共同で事業を進めて行く必要があります。住みよい地域づくりの一步となる今回の協定に賛成します。

反対討論

シカ肉処理加工施設 設置推進に疑問

高澤 榮子 定住自立圏の形成そのものには反対ではないが、協定書の内容や推進体制について、スタート時点から西脇市と多可町、1対1の関係でないのが気にかかります。協定事項に盛り込まれた「シカ肉加工処理施設」の設置推進も拙速だ。